

平新報

題創刊拾五週年

山野邊眞立

帝都の大受難、關東大震災努力奮闘の跡等を顧みれば、余は未だ遺らざる大正は、實に幾多の波瀾と變遷の連続したる年、筆者は家事都を重ね創刊頭初より、合上在鮮五年有半にして、追憶して海に轉る感も深き鮮土より歸省した。

帝都の大受難、關東大震災努力奮闘の跡等を顧みれば、余は未だ遺らざる大正は、實に幾多の波瀾と變遷の連続したる年、筆者は家事都を重ね創刊頭初より、合上在鮮五年有半にして、追憶して海に轉る感も深き鮮土より歸省した。

帝都の大受難、關東大震災努力奮闘の跡等を顧みれば、余は未だ遺らざる大正は、實に幾多の波瀾と變遷の連続したる年、筆者は家事都を重ね創刊頭初より、合上在鮮五年有半にして、追憶して海に轉る感も深き鮮土より歸省した。

毎月五日發行
編者 山野邊眞立
編輯 山崎三郎
發行所 平新報社
廣告料 五圓二十字第一行
寄附金 寄附金簿
定額 五圓
送料 五圓

- 弔辭
- 一、日赤社長徳川家達代
 - 二、日赤平支部長代
 - 三、帝國軍人會後援會長清浦奎吾代
 - 四、平市長本人(青沼)
 - 五、平市方面委員代表
 - 六、縣醫師會長大原八郎代
 - 七、郡醫師會長本人(清水)
 - 八、磐中校長本人(淺水)
 - 九、磐中同窓會長本人(關内)
 - 十、磐中生徒代表
 - 十一、星野剛(五年)
 - 十二、等間郷友會神谷支部
 - 十三、牧野忠真子爵代
 - 十四、飯野小學校長
 - 十五、本人(坂内)
 - 十六、鷹崎千代(石城産科婦科看護婦學校)
 - 十七、河鳴露、法句
 - 十八、河鳴、外三名
 - 十九、河鳴、縣知事(君島、以下卅餘通)



酒井國三郎翁の盛葬

母校柔道部選手トシテ出場セル村上氏不幸負傷シ爾來床上ニ呻吟スルコト實ニ七ヶ年ノ長キニ及ベリ、此ノ間先生ハ朝ニタニ病床ヲ訪ハレ風雨嚴寒ノ日ト雖モ一日モ缺クコト無ク寢ニ懇切至ラザルナキ治療ハ筆者ノヨリシテ得ベキニアラザリシニ、先生ノ至誠ハ遂ニ村上氏健康恢復ノ喜ビヲ見ルニ至ラン現ニ中堅官更トシテ活躍セラレテ、此ノ間ニ於ケル先

生ノ苦心ト至誠トハ當時ヲ知ル人ノ何レモ感嘆措カザル所、崇高ナル先生ノ人格ヲ敬仰セザルハナク、而シテ先生ハ常ニ母校ノ衛生ニ生徒ノ健康増進ニ意ヲ注ガレ近年ハ日ヲ寤メテ登校セラレ衛生ノ諮詢ニ、生徒ノ健康診斷ニ孜々トシテ努力セラレタリト聞クニ及ビテハ我々卒業生トシテ亦感激ニ堪ヘザルナリ。

武運長久を禱る

磐中同窓總會は例年の通り去月拾日午後母校職員會當日出席會員と會計は左記

會計報告

自昭和十二年九月至同十三年八月

收入之部
一金千五百七拾六圓九拾貳圓也
前年度繰越金
一金百八拾四圓也
昭和十二年卒業生入會金
一金百貳拾五圓七拾錢也
名簿代寄附
一金拾圓也
利子
支金七拾四圓九拾七錢也
支金之部
內譯
一金貳圓也 總會茶菓代
一金參圓八拾錢也 職員
錄一部代
一金五百圓也 名簿二千
部印刷費
一金五拾圓也 出征會員
武運長久祈願費
一金拾圓貳拾錢也 出征
軍人慰問印刷費
一金四圓七拾七錢也
神符及慰問狀發送郵税
一金五拾圓九拾錢也
同窓會賞品代、置時計
(二面に續く)

六ヶ三、五〇アル
バム三冊一六、五〇
黒葉書入六ヶ三、九〇
一金六拾圓也 卒業生受
験指導諸費トシテ母校
ニ寄附
一金六圓六拾錢也 寄附
者ノ領收書郵税

郷土の偉材

惜まれる
郷土の偉材
若松中佐
陸軍歩兵中佐若松七郎氏は
去年拾参日戦死された、故に
行年拾九歳その死を惜ま
れてゐる。

湯本町表町故湯本町収入
役若松太郎氏令息、現派遣
され専ら陸軍大學の教
官として、現職をなして來
るが、ボケツト用の最も
美麗なる表装にして内容は
五十編、一冊にして郷土勇
士の奮戦状況が手に取る様
にわかつて、一部賞費二十
圓にして希望者へ頒つ由、但
し一部以上参百部以下に申
込に間に合はざるもの

郷土部隊勇士の「盡忠美談」

石城發達獎勵會の木田藤次郎氏編纂
郷土部隊の勇士の勇戦、牧野(元佐伯、飯
出)の陣に送られて郷土をのり、部隊の血戦、さう
支那事變に於て北支に、中して南京を陥落せしめ、徐
南支の曠野に敢然として東州を攻奪占據したのである
洋平和永遠の聖戦に奮戦し、將政の最後の牙城たる漢
口を居るのである。兩角部隊は、今や死の街、愈々日本

軍の功略に依つて將潰滅せ
んと、あへぎ、あへぎの現
況である。
此の支那事變を永遠に記念
すべき思ひ出して平市發
達獎勵會が、郷土部隊の
奮戦に於ては第一線に勇
闘したる勇士の精神を慰
安の糧として『支那事變郷
土部隊盡忠奮戦美談』と題
して百頁の盡忠美談集を八
月三十日附を以て出版刊行
せられたが、昭和十二年七
月七日の蘆溝橋に於ける日
支兩軍の衝突戦より書き起
こされ、郷土出身勇士の赫
々たる武勳を輝かしたる奮
戦を、書き編みたるものにして
これを慰問袋の中に納めて
第一戦に一死奉公の誠を盡
して奮戦してゐる郷土勇
士の前へ送らんとする寸意
から印刷したるものとの由
なるが、ボケツト用の最も
美麗なる表装にして内容は
五十編、一冊にして郷土勇
士の奮戦状況が手に取る様
にわかつて、一部賞費二十
圓にして希望者へ頒つ由、但
し一部以上参百部以下に申
込に間に合はざるもの

尚古

大日本帝國
磐城平町
磐城中学校
植竹源太郎殿
軍部郵便 第二軍管理部
消印は、三十七年(明治)五
月二十一日第一野戦郵便局
受印が平局三十七年五月二
十九日

平新報
創刊拾五週年
賛援芳名録(一)
敬稱略(次第賛援順)
平市農會長 諸橋久太郎
石城發達獎勵會 諸橋元三郎
四丁目 小野藥局 小野常治郎
一丁目 諸橋敬一
縣會議員 關内正一郎
平庶民金庫事務理事 諸橋敬一
大一新商店 諸橋敬一
佐川洋服店 根本善吉
三頁

マルトモ書店
關内藥局
平中町
二丁目
なかや洋服店
南町
玉川村長
玉川消防組頭
玉川村収入役
草野郵便局長
玉川信用組合長
平市 請負業
三丁目 果實商
平市會議員
二丁目 衆議院
二丁目
三丁目
遠藤延太郎
酒井
藤山
横山
佐々木
新妻
高木
宮内
宮内
青木
永山
料理
山田
越乃
藝伎
平
旅館
御料理
平

平市田町 (電話五二三番)
高久病院
院長 高久 忠
副院長 赤羽 清
藥局長 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 (看護婦募集)

吉田眼科
平市紺屋町(電話六八番)

創刊拾五週年記念
皇軍 戰捷
武運長久祈願 弓道奉射大會
一、縣社飯野八幡神社 (平市地方)
九月二十四日(舊八月一日)
一、縣社住吉神社 (小名濱町地方)
十月十三日(舊八月二十日)
但し右は雨天順延とし會執行の係員等は目下斯道
家其筋等へ接衝中決定次第通牒す

平新報社
平市紺屋町
藤沼醫院
電話五〇七番

平市田町 (電話五二三番)
高久病院
院長 高久 忠
副院長 赤羽 清
藥局長 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 (看護婦募集)

吉田眼科
平市紺屋町(電話六八番)

創刊拾五週年記念
皇軍 戰捷
武運長久祈願 弓道奉射大會
一、縣社飯野八幡神社 (平市地方)
九月二十四日(舊八月一日)
一、縣社住吉神社 (小名濱町地方)
十月十三日(舊八月二十日)
但し右は雨天順延とし會執行の係員等は目下斯道
家其筋等へ接衝中決定次第通牒す

平新報社
平市紺屋町
藤沼醫院
電話五〇七番